

令和5年6月5日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 米本隆記・大原広巳

大山町議会議員派遣報告書

1	目的	標記研修に出席し、副議長としての資質を高める。
2	派遣場所	東京都
3	期間	令和5年5月23日（火）～24日（水）
4	派遣議員	米本議長・大原副議長
5	報告	<p>鳥取県長村議会議長・副議長研修会</p> <p>【内容】</p> <p>国、地方におけるDXの動向 デジタル庁審議官 阿部知明氏 平成12年IT基本方針、官民データ基本法をへて令和元年デジタル手続法迄多くの戦略や計画が立てられた。 それに伴いデジタル庁の発足につながった。 マイナンバー制度もその一つであり、住宅基本台帳の中から名前、住所、生年月日、男女の4つを基に番号化したものである。 この番号を使う事によって住所の移動がスムーズになるばかりでは無く、医療、資格等様々な事がすぐにわかる様になる。 この制度が普及しない要因は、納税者番号制度の印象からではとあった。 マイナポータル機能を使えば医療ばかりでは無く、ふるさと納税控除の証明、国保免除申請や証明、確定申告の医療費控除、公的年金等源泉徴収票等との連携もできる。これにより行政の効率化、利便性の向上を図る。 公共機関と民間が情報共有する事で今以上のデジタル社会を目指す。</p> <p>【所感】</p> <p>この研修では、デジタル社会を構築する上で何を指すのかが問われていると感じた。利用者本人の意向とは違っても社会はそちらの方向に向かっていく。いかに理解を得ながら進めていくかが今後行政にも問われる事になる。わかりやすい丁寧な説明が必要になると感じた。行政については人材育成支援の活用を検討してみたい。補助金あり</p>

令和5年議長・副議長研修会

【内容】

1・町村議会の課題と今後の展望について

大正大学社会共生学部教授 江藤俊昭氏

統一地方選政治に関心が無くなったのか無投票選挙区が増大した。

関心を持つ方策が必要 住民と歩む議会が必要 芽室町、浦幌町の紹介があった。昨年総務委報告有り。成り手不足の誤解。

報酬の増額 地一住民の理解をどう取るか、慎重な議論を。定数の削減をすれば 得票数が上がり逆に手上げしない。

夜間議会は 昼間仕事を夜間に行政監視はできない。

住民総会は 個々の意見をいかに纏めるのか。

2・町村こそデジタルを一住民のためのデジタル活用法

NPO 法人ブロードバンドスクール協会理事 若宮正子氏

デンマークの紹介をされ、日本との違いを説明された。

高齢者割合が高いが、取り組み効果が大きい事行政手続の時間 30%短縮年間 370億円の削減に。

エストニアリタン人口 130万人 電子サービス利用 84% 暮らしの幸福度向上 93%と高い。

利用方法は誰から自分で 45%家族から 40%と高い。

成功の背景 自分はエストニア人であると自覚。

では日本が遅れた理由は上に立つ人高齢で積極的でない。IT は票にならない 等。自治体は必要な情報だけを整理管理、これは全部署が参加が条件になる。

高齢者と若者とのつながれる仕組み 高齢者から学ぶものもある。

高齢者のデジタル教育に家族の協力を。

3・地方議会とハラスメント

朝日新聞社コンテンツ編成本部次長 三島あずさ氏

令和2年内閣府の調査で地方議員男性 3243人中/32.5%、2164人中/57.6%が受けたと回答。

2015年に初当選した女性議員 544人が回答し 25%が受けたと回答。

ご自身と重ねて

断れないと思っている 取材できなかつたら困る

自尊心が削がれる 真剣に仕事してもバカにされる

自分にも非があるのではと思わされる 2人になったのが
若者から敬遠される あんな目に遭いたくないからなりたくない
意思決定は男性ばかり つらさが伝わらない、相談しづらい
何言うのかより誰が言うかが重視される 社内会議でのいじめ
女性が少ない 目立つ、実績上げてても得をしている
朝日新聞では2020年4月ジェンダー平等宣言
宣言から3年進歩状況を年一度公表する様にした。
この様な取り組みで入社試験を受ける若者が年々増加した。

【所感】

今回の研修では江藤氏の成り手不足の誤解が気になった。多くの議会は
定員割れした場合定数に手をつけたがるが、それは議員自ら門徒を狭めて
いる事に気付くべきである。多様な意見が偏る危険が増大する事も考える
必要もあるのでは。

また、報酬を上げてても成り手不足の改善には程遠く議会に関心を持たせ
る事こそなりて確保になるのではないか。

若宮氏のデジタル活用は言われることは理解できるが、如何に家族の協
力を求めるのか。世代間同居を進めようとしている本町だが、まだその様
になってない。

三島氏は新聞記者の立場を議員に変えての講演であり、ご自身の取材担
当を交えての話であった。

ここ近年ハラスメントやジェンダーはみんなが意識し出したと思ってい
る。未だそれに気付かずにおられる方をどう教えていくかが大切になる。